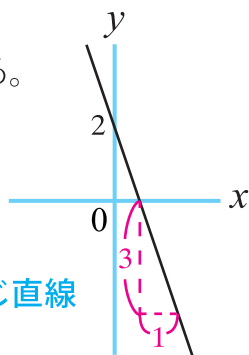


1次関数と連立方程式(1)

2元1次方程式のグラフ

2元1次方程式 $ax + by = c$ のグラフは直線である。
 (例) 2元1次方程式 $3x + y = 2$ を y について解くと、
 $y = -3x + 2$ となるから、 y は x の1次関数とみることができる。
 そのグラフは、傾きが -3 で、 y 軸上の切片が 2 の直線である。



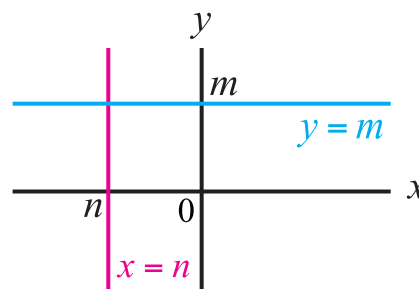
(2元1次方程式) $3x + y = 2$

↕ グラフは同じ直線

(1次関数) $y = -3x + 2$

軸に平行な直線

$y = m$ のグラフは、点 $(0, m)$ を通り、 x 軸に平行な直線になる。
 $x = n$ のグラフは、点 $(n, 0)$ を通り、 y 軸に平行な直線になる。



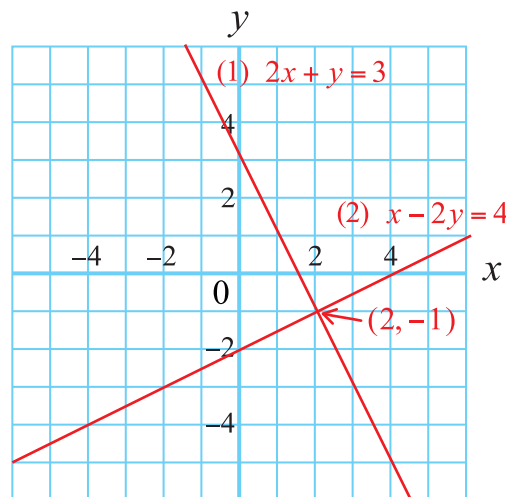
【1】 次の方程式のグラフをかきなさい。
 また、2つのグラフの交点の座標を答えなさい。

(1) $2x + y = 3$ (2) $x - 2y = 4$

y について解くと、

(1) $y = -2x + 3$ (2) $y = \frac{1}{2}x - 2$

答え (2, -1)



【2】 次の方程式のグラフをかきなさい。

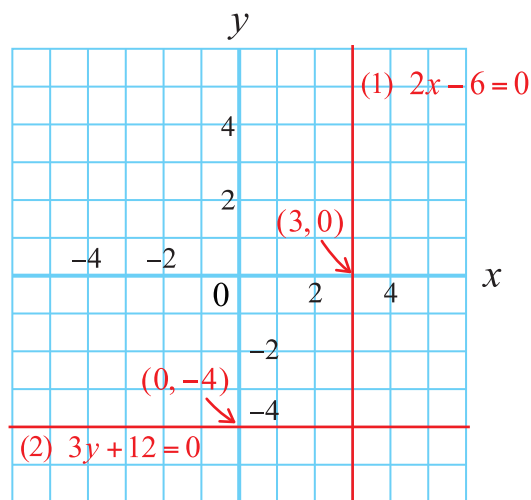
(1) $2x - 6 = 0$ (2) $3y + 12 = 0$

(1) を x について解くと、

$x = 3$ (y 軸に平行な直線)

(2) を y について解くと、

$y = -4$ (x 軸に平行な直線)



【3】 方程式 $2x - 3y = -6$ と x 軸、 y 軸との交点の座標を求めなさい。

$x = 0$, $y = 0$ をそれぞれ代入する。

$x = 0$ のとき、 $y = 2$

$y = 0$ のとき、 $x = -3$

答え x 軸との交点の座標 $(-3, 0)$ y 軸との交点の座標 $(0, 2)$